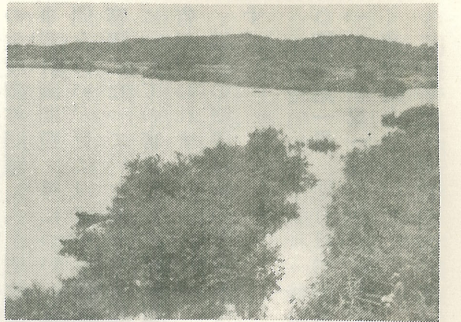




# とね

茨城県北相馬郡利根町役場  
昭和53年1月20日発行 No. 166



## 年頭の御あいさつ

### (公共下水道建設の促進)

利根町長 小島栄一郎



一九七八年の輝かしい新春を迎え、皆様方の御繁栄を心から御祈り申し上げます。  
対話町政に徹し、町民生活優先の政策を強力に推進し、「明るく豊かな町民生活の実現」こそ、変らぬ私の政治理念であり、町民の福祉増進と町勢の伸展を基調として策定された「三万田園都市建設計画」が、議会の積極的な協力と町民各位の深い御理解の下それぞれ分野で順調な布石を見るにいたりましたことは共に同慶に堪えないところであります。  
町の重点施策が、着々遂行され、当面する課題は、公共下水道建設の促進であります

## 年頭の御あいさつ

利根町議会議長 関口喜一



昭和五十三年の年頭に当たり謹んで新年の御あいさつを申し上げます。  
皆様あけましておめでとうございます。輝かしい新春を迎えまして、皆様とともに栄えゆく利根町の将来をこほぎ、あわせて町政の伸展を御祝いできますことは、御同慶

の整備を促進すべく、本年度より工事を市街地に進め、町全域普及のため、少くとも十カ年間を展望し、建設を進める考えであります。

県の浄化センター誘致の効果をより大きく生かし、農業用排水路の浄化と町民が快適な生活を享受するため、全世帯を水洗便所化し、生活環境

更に米の生産調整の問題、圃場整備の促進、新規工場の誘致、小売商店対策、新旧住民の意志の疎通を図るためのコミュニティの形成、真の豊かさを求めている社会開発等々、増大しつつある行政需要

にたえないところであります。

ことしも万難を排し、明るい住みよい町政を築くよう猛進する覚悟でありますので、どうぞ変らぬ御支援並びに御協力を御願いたします。

しかしながら、町民の福祉を増進し、産業経済その他の面等、町民生活の安定を図るには、なお、重要な問題が山積しております。

まず、上水道の末端の給水整備の問題、そしてこの事業とあいまって公共下水道の推進の問題、あるいは教育については、教室の増築、永久ブールの新設、教材教具の充実、米飯給食の促進等の問題、商

を積極的に受けとめ、常に大局を誤らない施策を断行し、円高不況、なお、低迷を続けるであろう経済情勢の中で、当然制約される財源の下にも創意を重ね、効率的な財政運営を図り、これら課題解決のため、本年もたゆまぬ努力を続ける決意でありますので、変らぬ御協力を賜りますようお願いいたします。年頭の御あいさつといたします。

工業の振興の対策、そして当町の基幹産業であります農業振興の問題として圃場の整備経営の合理化、後継者の育成農道の整備などを促進してゆかねばなりません。

このような問題点の解決を図ることは、直接町政を担当するわれわれに課せられた責務であり、国及び県の施策とあいまって、町財政の範囲内において最大の効果が上がるよう努力する所存でありますので、町民の皆様の理解ある御協力と御指導を賜りますよう御願い申し上げます。

御発展と御健勝を御祈りいたしまして新年の御あいさつといたします。

☆ ☆ ☆

# 議会だより

## 52年度の一般会計予算は 十三億六千七百六十三万四千円に

### 【第四回利根町議会定例会】

昭和五十二年第四回利根町議会定例会は、昨年十二月十五日午前十時から（会期は六日間）役場の会議室で開かれ、昭和五十二年利根町一般会計補正予算等、町長提出議案十四件及び議員提出議案二件が審議され、そのうち十五議案は原案どおり可決（認定）され、一議案が総務委員会に付託されました。

また、通告制による一般質問では、四人の議員が、「米の生産調整問題」や「土地改良事業計画問題」等について質問を行い、更に以前から継続審議になっていた議案や請願についての審査並びに結果報告が行われました。

議会の概要は次のとおりです。

○**議案第一号** 地方自治法第一七九条第一項の規定に基づき専決処分について  
この件は、専決処分によつ

昭和五十二年利根町一般会計予算が次のように補正されました。

追加補正額歳入歳出とも  
五千八百三十六万円  
既定額  
十三億九百二十七万四千円  
合計  
十三億六千七百六十三万四千円

補正予算の歳入及び歳出については、次のとおりです。

◎**歳入**  
○町税 九百五十二万七千円  
○地方交付税 二千七百三十五万五千円  
○国庫支出金 一千六十二万八千円  
○県支出金 八十五万二千円  
○繰越金八百五十七万八千円  
○諸収入一百二十二万円

○町債 二十万円  
歳入合計 五千八百三十六万円

◎**歳出**  
○総務費四百三十七万六千円  
○民生費 二十四万八千円  
○衛生費一百七十四万六千円  
○農林水産業費 一百四十五万二千円  
○土木費 一万円  
○商工費 四十二万五千五百円  
○消防費四百五十万三千円  
○教育費三百七十七万円  
歳出合計 五千八百三十六万円

歳出のうち主なものをあげると次のとおりです。

○昭和51年度分老人医療費国庫負担金返還金 四十九万一千四百十五円  
○電話料 四十万円  
○会議用テーブル代 四十三万九千九百五十円  
○乗用車購入代 二百万円  
○竜ヶ崎地方衛生組合負担金 一百五十六万四千円  
○一筆調査委託料 五十六万三千円  
○四カ村排水浚渫補助金 五十万円  
○布川兼松用地附金排水工事費 五十万円



▲昭和52年第4回利根町議会定例会

○一筆調査委託料 五十六万三千円  
○四カ村排水浚渫補助金 五十万円  
○布川兼松用地附金排水工事費 五十万円  
(3) ページへつづく

- 羽根野集会所前U字溝蓋掛工事費 三十万円
- 奥山大野氏宅上道路補修費 五十万円
- 羽根野伊丹氏宅前外一路線舗装工事費四十万円
- 特改四種工事費(産業道路) 二千八百一十二万円
- 産業道路一ノ三号区嵩上げ工事費八百九十七万円
- 羽根野蜂谷氏宅附近用地買収費 三十二万八千円
- 押戸地区農道整備負担金 三十八万八千八百五十円
- 中谷地区町道工事負担金 三十一万六千六百五十一円
- 透水管及びU字溝集水ます工事費(公園費) 四百八十万円
- 消防敷地埋立工事費(中田切) 一百八十四万二千八百円
- 消防団員退職償償金 一百十九万九千円
- 谷原地区貯水槽新設工事費 九十万円
- 文小學校光熱水費(電気料) 二百四十六万六千円
- 布川小學校体育館周囲土盛整地工事費 一百万円
- 議案第三号** 昭和五十二年度利根町国民健康保険特別会計補正予算(第二号)について

昭和五十二年利根町国民健康保険特別会計予算が次のように補正されました。

直営診療施設勘定追加補正額歳入歳出ともそれぞれ  
一百五十四万円  
既定額  
三千八百九十六万九千円  
合計  
四千二百三十三万円

なお、この補正予算の歳入については、繰越金であり、歳出については、診療所職員の給料及び修繕費・備品購入費(事務用機・いす・掃除機)等です。

○**議案第四号** 昭和五十二年利根町下水道事業特別会計補正予算(第三号)について  
昭和五十二年利根町下水道事業特別会計予算が次のように補正されました。

追加補正額歳入歳出ともそれぞれ  
七千三百五十八万八千円  
既定額  
八千十二万一千円  
合計  
一億五千三百七十七万九千九百九十九円

補正予算の歳入及び歳出については次のとおりです。

◎**歳入**

○国庫支出金 三万円  
○繰越金 二千三百五十七万円  
○町債二千円  
○使用料及び手数料 一万八千円  
歳入合計 七千三百五十八万八千円

◎**歳出**  
○下水道費 七千三百五十八万八千円  
歳出合計 七千三百五十八万八千円

歳出については、公共下水道の工事請負費(六千三百万円)が主で、そのほか、積立金及び職員の給料等です。

○**議案第五号** 利根町税条例の一部改正について  
利根町税条例の一部が次のように改正されました。

町民税及び固定資産税の前納報奨金について、その額が十万円を超える場合にあっては、十万円とするというものです。

ただし、この条例は、公布の日から施行し、昭和五十三年四月一日から適用されます

○**議案第六号** 利根町都市公園の設置及び管理に関する条例の制定について  
この条例は、都市公園法に

基づく命令に定めるもののほか、都市公園の設置及び管理等について必要な事項を定めるものです。

ただし、この件のみ総務常任委員会に付託されました。

○**議案第七号** 稲敷地方市町村圏事務組合規約の変更について  
この規約の第三条の次に次の一項が加えられました。

(4) 養護老人ホームの設置及び管理運営に関すること。  
この規約は、茨城県知事の許可のあった日から施行。

【解説】  
当圏域には、私立の特別養護老人ホームが一施設のみである現状から、広域圏の根幹事業として養護老人ホームを設置し、老人福祉の向上に資するため、規約の改正が行われたものです。

○**議案第八号** 利根町道の路線変更について  
早尾、上曾根、立木地内等宅地造成あるいは産業道路改良工事の完成に伴い、利根町道の路線の変更が行われたものです。(道路法第十条第三項の規定による)

○**議案第九号** 利根町道の路

線認定について  
立木、早尾地内等、宅地造成あるいは、産業道路の完成に伴い、同地内の道路の一部が、利根町道として認定されたものです。

(道路法第八条第二項の規定による)

○**議案第十号** 昭和五十一年度利根町一般会計歳入歳出決算認定について  
歳入総額 十六億三千七百六千円  
歳出総額 十四億八千二百八十二万四千円  
歳入歳出差引額 一億五千四百八十八万二千円

○**議案第十一号** 昭和五十一年度利根町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について  
〔事業勘定〕  
歳入総額 二億一千三百五十六万五千円  
歳出総額 一億九千八百九十九万四千円  
歳入歳出差引額 (4) ページへつづく

一千五百三十七万一千円  
 (五十二年度へ繰越)  
 〔施設勘定〕  
 歳入総額 三千六百二十九万六千円  
 歳出総額 三千三百九十六万六千円  
 歳入歳出差引額 二百三十三万円  
 (五十二年度へ繰越)

○議案第十二号 昭和五十一年度利根町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について  
 歳入総額 二億六千二百三十七万一千円  
 歳出総額 二億二千二百六十八万六千円  
 歳入歳出差引額 三千九百六十八万五千円  
 (五十二年度へ繰越)

○議案第十三号 昭和五十一年度利根町広域下水道建設用地買収事業特別会計歳入歳出決算認定について  
 歳入総額 四十一万六千円  
 歳出総額 四十一万円  
 歳入歳出差引残金 六千円  
 (一般会計へ繰入)

以上の四件については、町の監査委員桑原芳雄氏、鈴木茂氏の最終監査(地方自治法第二二三条の規定による審査)も済み、収支ともに正確にして規定に違背したる点なくかつその計算は、帳簿ならびに証書類と照合し、すべて正当なるものと認める。との報告があり、提出された決算書のとおり認定されました。

○議案第十五号 老令者医療保障に関する抜本改革について決議  
 この件は、議員の提出によるもので、決議文は次のとおりです。

国民皆保険の仕組みの中で制度的に低所得者層と老人層を多く抱えている国民健康保険事業は、老令者医療無料化と人口老化現象の進行とともに、他の社会保険制度に比し、著しく過重な医療費負担を余儀なくされており、早急に対策を講じなければ、財政破たんに至ることは明らかである。

本来、老人に対する医療保障は、健康管理、予防、治療リハビリ等包括的医療保障の対策が一貫した制度のもとで行われることが望ましくその費用は、国民が全体で公平に

負担する制度を確立すべきであって、現行の糊塗的対策によつては、本格的な人口の老化時代に対処し得ないものと思料される。

本議会は、以上の趣旨により、政府に対し、かねて検討中の老令者医療保障に関する抜本改革を昭和五十三年度中に断行するよう要請する。

以上決議する。

昭和五十二年十二月二十日  
 ○議案第十六号 米の生産調整に関する意見書の提出について  
 同じく議員の提出によるもので、意見書の内容は次のとおりです。(ただし、紙面の都合により前文を略す。)

一、生産調整の強制的配分や買入れ制限をやめ、特に未達成分の翌年度への上乗せなどの罰則は撤回すること。  
 二、農家が自主的に転作できる条件整備を最優先してすすめること。  
 (1)奨励転作作目をはじめ主な農産物に米なみの労働報酬を実現する価格保障制度を確立すること。  
 (2)田、畑輪換を可能にする土地改良を面積に関係なく行い、費用の農家負担を軽くすること。

○請願審査報告について  
 昭和五十二年三月二十二日付で、総務常任委員会に付託された「利根町の交通機関整備に関する請願」は、同委員会で審査の結果、不採択と決定した旨、同委員長佐々木三議員から報告がありました

(3)転作作目に必要な機械、施設への助成、栽培技術の指導、流通対策などへの援助を行うこと。  
 (4)奨励転作作目は、地域の実情、農家の意見を尊重してきめること。  
 三、消費者米価の値上げをやめ、米飯給食など積極的に米の消費拡大を図ること。  
 四、農業を圧迫する農産物の輸入をやめ、特に円高問題を農家の犠牲で解決するような輸入は絶対しないこと。

○付託された議案の審査報告について  
 昭和五十二年九月十九日付で、総務常任委員会に付託された「議案第九号 利根町都市計画条例」は、同委員会で審査の結果、原案を可決すべきものと決定した旨、同委員長佐々木三議員から報告があり、この件は原案どおり可決されました。

○請願審査報告について  
 昭和五十二年三月二十二日付で、総務常任委員会に付託された「利根町の交通機関整備に関する請願」は、同委員会で審査の結果、不採択と決定した旨、同委員長佐々木三議員から報告がありました

寝具、衣類、ぞうきん特別  
 自動車による運搬奉仕、児童遊園清掃奉仕  
 払い出し  
 現金二件一万七千七百四十三円身障福祉会へ。  
 寝具、衣類低所得世帯へ。  
 自動車による運搬奉仕(牛久町柏和田からギャジベツト運搬)  
 世帯更生資金貸付事業  
 住宅資金一件七十万円  
 心配ごと相談事業  
 三十二回開催  
 相談件数三十八件  
 既報後の善意の預託  
 布川 太田久子殿  
 白鷺の街 宮尾しづい殿  
 身体障害者の会を指定して多額の現金が預託されました。お二方の善意に厚くお礼を申し上げ、ご報告いたします。

○請願審査報告について  
 昭和五十二年九月十九日付で、総務常任委員会に付託された「歯科医師誘致条例の制定をもとめる請願」は、同委員会で審査の結果、採択と決定した旨、同委員長佐々木三議員から報告がありました



たばこは町で  
 買いましょう

○20本入りのたばこ一箱で、24円25銭のたばこ消費税が町にはいります。  
 ○消費税が町の大きな財源になり、住みよい町づくりに役立てられます。  
 ○たばこ消費税は、大きな町の財源です。たばこは、利根町内のたばこやさんで買いましょう。



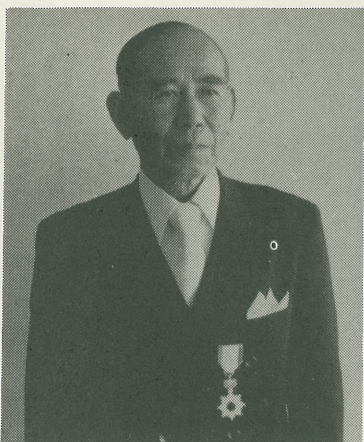
間が多くなりますから、お早めに申告を済ませてください  
 ☆贈与税  
 贈与税は、一月から十二月までの一年間に、六十万円を超える財産を個人からもらった人にかかる税金です。親などから財産(預金、株券、土地、建物など)をもらったときなど、つい、うっかり忘れがちです。ご注意ください  
 贈与税の申告と納税は、二月一日から三月十五日までです。お早め申告を願います。

次のようなものには贈与税がかかりません。  
 ①法人からもらった財産(これには所得税がかかります)

②親などから必要のつどもらった生活費や教育費  
 ③社交上の香典や贈答品などで常識的な範囲内のもの  
 ……などです。

めでたいニュース

昭和52年秋の生存者叙勲



▲大越さんの叙勲祝賀会は、昨年12月3日多くの人々が参加して中央公民館で行われました。写真はその時撮影したものです。

◇：勲六等単光旭日章…◇  
 大越 博士氏(七一才)  
 (大字立崎七二番地)

昭和五十二年度秋の生存者叙勲に際し、地方自治功労者として、元利根町議会副議長大越博士氏には、勲六等単光旭日章叙勲の榮に浴されました。

まことに慶賀のいたりに存じます。

ご存じのように大越氏は、多年にわたり町議会議員として地方自治の進展に貢献されたばかりでなく、昭和四十六年五月十二日から同五十年四月二十九日まで四年間は、副議長として骨惜しみせず町政の発展に活躍されたかたで

あります。

また、農業委員や統計調査員、区長、下利根川小貝川沿岸水害予防組合議員等の経歴も有し、それぞれの分野で広く町民からも認められ、地域住民からの信頼を得ているかたでもあります。

町民こそって祝福と感謝の心を贈りましょう。

社協だより

昭和五十二年度社協、民協合同会議を開催

毎年、年末には、社協、民協の合同会議が開催されますが、昨年十二月十二日、役場の会議室で、社協の事業、会計の中間報告が行われました

○事業報告

子どもの福祉事業、老人、母子、身障、傷痍軍人、戦没者遺族、低所得世帯の福祉事業がそれぞれ報告されました。

○会計報告(一般会計)

収入  
 予算額 三百八十九万三千元  
 収入済 二百四十六万二千七百二十五円  
 支出  
 予算額 三百八十九万三千元  
 支出済額 二百六十六万二千二百二十円(特別会計)  
 ○小口貸付金  
 元資高 一百四十三万八千七十一円  
 過年度貸付残 八件二十九万七千四百五十円  
 本年度貸付 八件五十万六千円  
 現在残高 八十万二千二百三十九円

○善意銀行事業

練越高 三十八万八千八百八十五円  
 本年度預託現金 十一件八万七千七百七円  
 物品

申告はお早めに!

三月十五日まで

☆所得税

昭和五十二年分の所得税の確定申告と納税の時期が近づいてきました。期間は二月十六日から三月十五日までです。三月十五日間近になりますと税務署が大変混雑し待ち時

# バスケットボール大会

東文間小 六年 市田 文子

勝負の別れ道、全国大会に出場できるか、それとも悲しんで帰ってくるか。そう、きょうは十二月十八日、県大会が行われる日です。

朝はそんなにどきどきしていませんでしたが、試合となると、少しきんちようしてしまいました。一クオーターに三回もファウルをしてしまい

ました。あれだけ先生に念をおして言われたのに。自分でも、なんだかわからないようでした。第一試合目の上島東というチームの時は四クオーターであつというまに点をひらき勝ちました。さあ、次は見川チームと準決勝だ。長崎を目ざしてがんばろうとなど思ったことだらう



▲県大会の決勝戦でおしくも1点差で敗れた東文間小ミニバスケットクラブの皆さん。

男子の応援、ふけいや先生方の応援、それに文間小の女子の応援。みんなみんな遠くはなれていくような気がしてきた。だが、男子の応援だけは、はつきりと聞こえてきた。なせだろう？。この応援を聞くとき、なんだかファイトが出てくるような気がしてききました。

すると、「バツーン」という力強いピストルの音がしました。「はっ」と思っただけで私たちが勝ったことがわかった。よかった、よかった。

今度は、いよいよゆめに見た決勝戦です。負けてたまるものかと心の中でくり返した前半は14点の差で私たちが勝っていたのに、気をゆるめたせいでどうか、試合終了の時は32対32の同点になっていた。「あー、えんちよう戦だ」と思った。時間は三分間。両チームともがんばったが、たった一点差で負けた。

とびあがつて喜んでいたら、きわチームの姿を見るのはできなかつた。くやしさと悲しさが、からだじゅうをかきまわした。くやしい、くやしい。一点とはこんなに大事なものであったのか。目標はなしとげられなかつたけど、私たちは

よい勉強になった。残念だけど、ときわのみなさん、全国大会もがんばって、必ず優勝してください。

試合の結果

- 一回戦
  - 東文間52 — 上島東22
- 準決勝
  - 東文間27 — 見川20
- 決勝
  - ときわ35 — 東文間34
  - 8 — 22
  - 24 — 10
  - 3 — 2

## 第一回 町民マラソン大会 開催さる

体育協会主催によるマラソン大会が、昨年十二月十一日(日)に行われ、約七十人が参加いたしました。

この日は、中央公民館をスタートして、小学生と高齢者は約三キロ、中学生と高齢者は約五キロのコースで全員が最後まで走り抜きました。ちなみに、最高齢者は七十二才で、マラソン終了後、同好者のクラブも結成され、第一回町民マラソン大会は、盛会のうちに無事閉会となりました。



## 新春広報文芸

俳句： 布川 三谷てるを  
奥久慈は村さび山路冬紅葉

暖かき日和続きぬ帰り花

紅白の色重なりて冬椿

大利根の流れ豊かに去年今年

成人式黒髪ほのか匂はしむ

お降りや神おはします森深く

二日はや鎌倉彫の下駄穿きて

思はぬに三日の雪となりにつ

り 葉牡丹の雪真つ先きに払い

り 成人の日のドライブに誘はる

る

# アレルギーのはなし (I)

医師 杉山七郎

医学用語であったアレルギーということは、今や過敏症を現わす日常用語となつていろいろの方面でよく使われています。

たとえば、「核アレルギー」とか「都会アレルギー」など、新聞やテレビによく出てきます。しかし、その割りに、実態が正確に理解されていないようです。

医学用語としてのアレルギーは「変わった反応」という意味をもっています。アレルギー病は、国民のおよそ一割つまり日本では一千万人の病気で、「喘息」だけでも百万や二百万の患者がいると推定されており、神経をすりへらす文明生活、過保護、大気汚染、加工食品や薬物のはん

溢は、すべてアレルギー病の発症を促したり、症状を増悪させたりします。

アレルギー病は、喘息のほかいろいろあります。これはあとで述べるとして、このアレルギー病はどんなからくりで発症するのか、アレルギーには遺伝体質があるといわれています。しかし、どの病人

も遺伝的の家系へ属しているのかどうか、直す方法もなかなかむずかしいようです。昔から解熱鎮痛剤として使っているアミノピリンやアスピリンは、熱を下げ、頭痛や神経痛にもききますが、ときに全身や口唇、手掌、足趾、局部など、局所性にいろいろな形の発疹を出したり、特異的なピリン疹を生じたりひどい時はショックを生ずることもあります。この状態もアレルギー反応です。

抗生物質のペニシリンなどもアレルギー反応を起こします。ピリン系薬剤を含有するドリシク剤の感冒薬がこのために廃止されました。

このアレルギーのしくみによっていろいろな病状が現われますが血清病をはじめとしてアレルギー性鼻炎、じんま疹、胃腸アレルギー、とくに代表的な疾患として、気管支喘息、更にリユーマチ、腎炎など、いろいろあります。

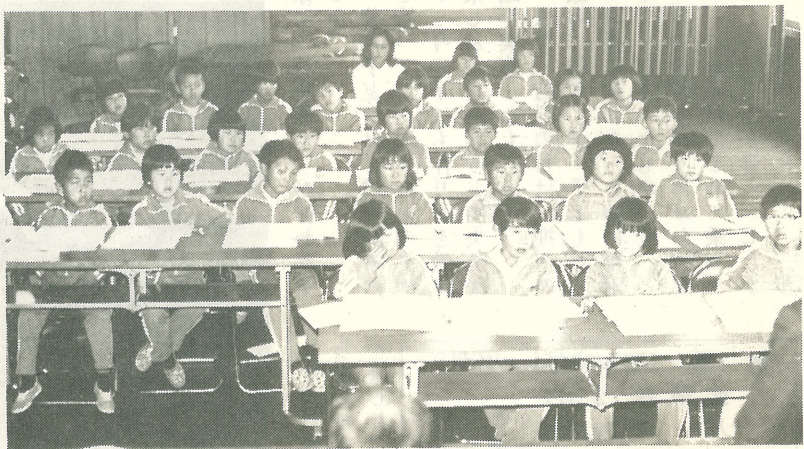
これを順に並べてみましょう。気管支喘息、皆さん御存じのようにゼイゼイ、ヒューヒュー、呼吸困難時に発作的

に強く現われる病状です。そしてこの症状を起こすものとすなわちアレルギー(抗原)にはいろいろあるようです。家のホコリ、絹、イヌ、ネコの毛、羽毛、ソバがら、タタミ草や木の花粉、食べ物、飲み物の牛乳、卵、チーズ、青味赤身の魚、肉類、トマト、ほうれん草、細菌など。

また、誘因となるものには不安、興奮、気圧、湿度、湿度、風、タバコの煙、過労、入浴、感冒など、そして成人の喘息で感冒をきっかけとして発作がはじまる人が多く、その中で過労が誘因としてかなり重要なことがわかつています。(第II回は来月に)

美術や音楽は人間の美しい心を育ててくれる最もたいせつな文化です。町の皆さまが美しい心になれば、その町は美しい社会になります。

光竜会では、昨年十一月二十六、七の両日、町長さんをはじめ皆様方の御協力により利根町総合美術展を公会堂で盛大に開催することができました。まことに喜ばしいこと



▲文小学校の3年生30人(男子13人、女子17人)が、昨年11月29日役場の仕組と仕事の内容について、勉強したいと担任の須崎先生につれられて見学に訪れました。写真は、その日町長と総務課長から説明を聞く文小学校の良い子たち。

## (美術だより)

であると思えます。

この日は、幸いにも、暖かい日より恵まれ、利根町美術の秋を飾る公会堂の二階は多数の参観人でにぎわいました。

また、階下では、小中学校の書道展のほか鞍物展示会等も開かれ、ほんとうによかったです。

五十三年度には、もっとも

(光竜会)



# 新年の御あいさつ

利根町商工会会長 新井 太郎



明けましておめでとうござ  
います。昨年は、不況対策と  
して、政府も公定歩合をたび  
たび引下げ、また公共投資の  
増加等により、景気の回復に  
努めてきましたが、円高によ  
る中小企業の倒産件数は、現  
在でも増加のいちはずをたど  
つてあります。

商工業者にとり、こうした  
不況の折こそ世の中の動向に  
注意し、経営面の厳しさに耐  
えながら、一段と創意工夫し  
地域に目だつ商法の研究、良

また、商工業者育成金融対  
策としての経営改善貸付金も  
大変好評で、現在会員の大半  
のかたに利用されています。  
今度、また一段と利率も安  
くなり、貸付金の割当でも増  
加してまいりました設備や運  
営の資金等に御利用くださる  
よう望んでおります。

よく「白馬天空を馳ける」  
と言われますが、白馬は神の  
使いとして一陽来福無病息災  
すべての願いごとがかなうと  
昔から言われています。  
この幸運な年を迎えて、利  
根町の皆様の御健康と御幸福  
をお祈りして新春の御あいさ  
つといたします。

## 竹馬作りを楽しむ

冬休みの始まった十二月二  
十五日、午前中は布川児童公  
園、午後は中央公民館を会場  
として、小学三年生以上を対



▲ 青竹をのこぎりで切って、いっしょう  
けんめいに竹馬を作る子どもたち。

## 泰平一家



象に「竹馬作り」が行われま  
した。  
昔の子どもは、雪の降るの  
を待つてよく作ったものでは  
が、今の子にも作り方を教え  
楽しんでもらおうと中央公民  
館が実施したものです。  
また、材料の竹は、押戸の  
飯田一郎さんが、子どもたち  
のお役に立つならと特に寄附  
してくださったものです。  
自分の手で作りあげた竹馬  
に、これまたはじめて乗った  
という子どもが多く、したが  
って最初のうちは、二、三歩

町 勢 (昭和53年1.1現在)	
世帯数	2,377
人口	10,151
	男 5,012
	女 5,139
発行所	利根町役場
町長集	小島栄一郎
編集	総務課広報係
電話〔利根〕	(029768) 2211, 2212 2213, 3733
印刷	倉沢印刷株式会社

しか歩かせませんでした、た  
ちまちのうちに上達してしま  
いました。